

## 5. 被災者対応

### (サ) 労働福祉会館使用料の免除

・免除件数:4件、免除額:44,400円

※被災者の生活支援活動を行う市外の団体対象

### (シ) 郡山市民交流プラザ使用料の減免

・減免件数:3件、減免額:4,500円

※被災者の生活支援活動を行う市外の団体対象

### (ス) 応急仮設住宅建設に伴う水道加入金及び審査・工事検査手数料の免除

費目	申請件数(件)	免除額(円)
水道加入金	1,295	132,164,550
審査・工事検査手数料	1,295	532,400
合計	2,590	132,696,950

※被災者の生活支援活動を行う市外の団体対象



郡山市内の仮設住宅

### (セ) 仮設住宅に係るごみの収集運搬及び処分

福島第一原発事故により富岡町、双葉町、川内村から避難した住民が入居する仮設住宅から出されるごみの収集運搬及び処分の実施

## 6. 原子力災害への対応

### 1. 子どもたちを守るために

#### (1) 小中学校、保育所等の除染

子どもたちの健康を第一に考え、平成23年4月27日に、他に先駆けて小中学校校庭及び保育所所庭等の表土除去を開始しました。

平成24年4月からは子どもたちの更なる安全・安心な教育環境を確保するため、小中学校のプール及びプールサイド並びに校舎屋上や校地内の外周部等について除染を実施しています。また、保育所等においても同様の除染を実施しています。

・表土除去等実施施設数(平成24年12月末実施分まで)

施設	総施設数	平成23年度		平成24年度	
		実施施設数	延べ施設数	実施施設数	延べ施設数
小学校(私立・分校含む)	62	60	77	62	70
中学校	28	27	31	27	32
保育所(公立)	25	24	38	23	25
保育所(民間認可)	14	12	13	10	10
保育施設(認可外)	67	29	31	29	29
幼稚園(私立)	33	27	32	30	30
児童センター	1	1	1	1	1
留守家庭児童会(保護者会)	3	1	1	1	1
子育て支援施設	3	2	3	3	3
希望ヶ丘学園	1	1	2	1	1
計	237	184	229	187	202



校庭表土除去

## 6. 原子力災害への対応

## 6. 原子力災害への対応

### (2) スポーツ広場・観光施設等の除染

【平成23年度】

#### ◆除染実施基準

地上から50cmで1.0 $\mu$ Sv/h以上の広場

- ・開成山野球場
- ・スポーツ広場  
(安積・三穂田・喜久田・日和田)
- ・開成山陸上競技場補助競技場
- ・開成山南自由広場



スポーツ広場表土除去

【平成24年度】

- ・カルチャーパーク
- ・開成山水泳場
- ・開成山陸上競技場
- ・大島東公園コミュニティプール  
(プール及びプールサイド等)

### (3) 公園等の除染

【平成23年度】地上から50cmで1.0 $\mu$ Sv/h以上の公園等を実施

種別	除染を実施した主な公園	実施箇所数
都市公園	開成山公園、荒池西公園ほか	178公園
ちびっこ広場	菜根三丁目ちびっこ広場ほか	252広場
農村公園	荒池農村公園ほか	3公園
市営住宅団地公園等	鶴見坦団地公園ほか	25箇所
計		458箇所

【平成24年度】地上から50cmで1.0 $\mu$ Sv/h未満の公園等を実施

種別	平成24年度実施数
道路(市道)	368.3km
都市公園	148公園
ちびっこ広場	32広場
農村公園	3公園
森林公園	2公園
計	185箇所

### (4) 郡山市ふるさと再生除染実施計画

#### 【基本方針】

- ・市をはじめ、地域との協働により取り組む。
- ・除染費用は、国、東京電力に全額負担を求める。

#### 【計画期間と目標】

	期間	目標
計画期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	年間追加被ばく線量※を長期的に1mSv(高さ1mで0.23 $\mu$ Sv/h)未満とすることを目指す
重点期間	平成23年度～平成25年8月末	①生活環境 年間追加被ばく線量:約50%減少 ②子どもの生活環境 年間追加被ばく線量:約60%減少 (平成23年8月末と平成25年8月末の比較)

※追加被ばく線量:自然被ばく線量及び医療被ばく線量を除いた被ばく線量

#### 【汚染状況に応じた除染実施方針】

汚染状況	除染実施方針
追加被ばく線量が年間5mSv(0.99 $\mu$ Sv/h)を越える区域	住宅(家屋・庭)、道路、側溝、公共施設等の面的な除染
追加被ばく線量が年間5mSv(0.99 $\mu$ Sv/h)以下の区域	住宅の雨どいや道路、側溝等高線量箇所の局所的な除染

#### 【市民との協働による除染の促進】

- ・郡山市線量低減化活動支援事業の実施
- ・サーベイメータ、電子式個人積算線量計の貸出し
- ・個人住宅等の空間線量の測定
- ・指導、啓発、相談体制の充実
- ・除染に係る土のう袋等の資材の配布、高圧洗浄機等機材の貸与

#### 【除染に伴い発生した土壌等の保管】

- 国の「中間保管施設」に搬入するまでの間、除去土壌等の一時保管は次のとおりとします。
- ・道路・側溝等:その地域にあるスポーツ広場・公園等の市有地
  - ・住宅等:宅地内

#### 【池ノ台地区モデル除染(1件)の結果】

- ・実施時期:平成24年2月23日～3月28日

6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応

《実施結果》室内の空間線量率が約半分に低減

測定場所 (屋外)	除染方法	高さ	除染前 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	除染後 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	低減率 (%)
屋根(瓦)	吸引式高圧洗浄	1cm	0.95	0.61	35.8
庭(芝生)	芝除去	1m	2.43	0.49	79.8
室内		1cm	0.53	0.29	45.3
		50cm	0.68	0.35	48.5
		1m	0.78	0.38	51.3

【池ノ台地区モデル除染(約100件)の結果】

・実施時期:平成24年6月28日~8月11日

《実施結果》

測定場所	高さ	除染前 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	除染後 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	低減率 (%)
庭等	地上1m	0.94	0.49	47.9
屋根	高さ1cm	0.69	0.51	26.1
室内	高さ1m	0.33	0.24	27.3

モデル除染の結果に基づき、効果的・効率的に進めていくための除染方法を検討



6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応

【一般住宅等の本格除染】

・実施の流れ

進め方	内容
①地区説明会の開催	土地、建物の所有者を対象とした説明会を開催
②除染実施に係る同意手続き	対象となる土地・建物の調査・立会いや作業員の立入り除染の実施及び除去土壌の保管等に関する同意の確認
③事前調査・立会い	事前に、敷地内の線量測定や除染の進め方等を確認
④作業実施	陸屋根・雨樋・コンクリートたたき等(吸引式高圧洗浄等)庭(表土除去・砂利除去等)・庭木(剪定)
⑤除去土壌等の保管	基本的に地下埋設により一時保管(地下埋設が困難な場合はコンクリート容器等により遮へいし地上保管)

【平成24年度】

発注時期	対象地区	件数
6月	池ノ台の一部(モデル除染)	107件
10月	池ノ台・愛宕町・深沢・豊田町・細沼町・麓山・鶴見垣開成(一～三丁目)・菜根(一・二丁目)	4,212件
11月	開成(四～六丁目)・菜根(三～五丁目)・桑野清水台五百淵山・五百淵西・菜根屋敷・山崎・台東・大槻町牛道の一部香久池・山根町・七ツ池町	3,667件
12月	日和田町高倉・西田町土棚・台新・朝日・緑町・亀田・桑野・島	6,180件
	計	14,166件

(5) 線量低減化活動支援事業

子どもたちが過ごす時間が多い場所(通学路等)における放射線量の低減を図るため、町内会等が実施する除染活動に係る経費の支援を行います。

・補助対象経費

放射線量調査・清掃経費、機材等の購入費、使用機器の燃料代、水道等使用料、トラック等賃借料、運搬経費、弁当代等

【補助限度額】

実施主体	対象地区世帯数ごとの補助限度額		
	50世帯未満	50～99世帯	100世帯以上
平成23年度に補助を受けた団体	20万円	22.5万円	25万円
初めて実施する団体	40万円	45万円	50万円

※高所作業を委託した場合は、10万円を限度として実費分を上乗せ

・平成23年度実績:622団体

・平成24年度受付団体:266団体



町内会やPTAをはじめとした市民の協力による除染活動

(6) 農地の除染

ア 農地等除染事業

「郡山市ふるさと再生除染実施計画」に基づき、市内で生産される米、果実等の農畜産物のモニタリング等において、放射性セシウムが国が定める基準を超えないことを目指し、農地等の除染を実施しています。

【平成23年度】

区分	面積(a)	地上1cm(μSv/h)			地上1m(μSv/h)			土壌中セシウム濃度(Bq/kg)		
		除染前	除染後	低減率	除染前	除染後	低減率	除染前	除染後	低減率
水田	600	0.93	0.63	32.3%	0.86	0.62	27.9%	2,719	1,375	49.4%
畑	100	0.77	0.48	37.7%	0.69	0.52	24.6%	1,970	606	69.2%
樹園地	3,800	-	-	-	0.79	0.67	15.2%	-	-	-

【平成24年度】

区分	地区	方法	平成24年度
水田・畑	旧市(大槻・富田含む)喜久田、日和田、富久山、西田	反転耕、深耕 土壌改良資材の散布等	560ha
樹園地	市内一円	粗皮削り、高圧洗浄等	27.1ha
牧草地	市内一円	反転耕、 土壌改良資材の散布等	159.5ha
計			783.5ha

## 6. 原子力災害への対応

## 6. 原子力災害への対応



農地の除染

### イ カリウム肥料購入費用の助成

農作物の放射性セシウム吸収を抑制する効果があるカリウム肥料を農家の方が購入する際、費用の一部を助成します。

#### 【平成23年度】

事業費	5,452万円
対象農地	約2,525ha

#### 【平成24年度】

事業費	1億6,600万円	
対象農地	8,300ha	
対象者	郡山市内の農業者	
事業実施期間	平成24年4月1日～平成24年8月31日	
補助対象肥料	(推奨)塩化カリ(カリ成分量:60%)、ケイ酸カリ(カリ成分量:20%)	
補助額	旧市(大槻・富田含む)、喜久田町、日和田町 富久山町、西田町(国庫補助対象地区)	上限2,000円/10ha
	上記以外の地区	対象経費の4分の3の額 上限1,500円/10ha

### ウ 農地土壌放射性物質分布マップの作製

農地の除染対策や、安全な農作物の生産対策に活用するため、本市や国、県が調査している農地土壌の放射性物質濃度測定データを使用し、本市独自の詳細な放射性物質分布マップを作製しています。

- ・農地土壌放射性物質濃度測定件数:1,097件(平成24年7月10日現在)

### エ 農業系汚染廃棄物処理事業

放射性物質の影響により利用できない農業系汚染廃棄物は、営農に支障がないよう一時仮置き等を実施しています。

#### (7) その他の公共施設の除染

・せせらぎこみち

名称	延長	実施箇所
台新・開成せせらぎこみち	2,100m	遊歩道、植栽、水路等
西ノ内・若葉町せせらぎこみち	1,000m	
計	3,100m	

- ・男女共同参画センター(さんかくプラザ):庭園
- ・郡山市保健所:駐車場・中庭
- など

## 2. 放射線量モニタリングと食の安全

「自分が住んでいる地域や、子どもが通う学校はどのくらいの線量があるのか」そんな不安を解消するため、小中学校、保育所、公園、行政センター、道路など、市内2,053か所で放射線量を定期的に測定し、「郡山市放射線量モニタリングマップ」として市ウェブサイト上で公開しています。

また、文部科学省が市内393か所に設置した可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システムで測定した最新の放射線量を、同省のウェブサイトで公開しています。

さらに、希望する個人の住宅の放射線量の測定や、サーベイメータ等を貸し出すなど、きめ細やかな空間放射線量の測定と情報提供に努めています。

#### (1) 身の回りの放射線量測定・測定機器の貸出し

生活空間における放射線量を測定し、市民の皆さんの不安を解消するため、放射線の測定器等の貸出を実施しています。

#### ア 町内会向けサーベイメータの配備

- ・平成23年10月28日から、各町内会へ1台ずつ配備
- ・行政センター及び方部町内会連合会を通して市内全659町内会に配布完了

#### イ 個人宅の放射線量測定

- ・平成24年1月11日から受付開始
- ・実施済み:1,868件